



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 川澄化学工業株式会社

コード番号 7703 URL http://www.kawasumi.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 昌谷 良雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 請川 浩一 TEL 03-5769-2600

四半期報告書提出予定日 2020年2月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,919	△6.2	799	76.6	863	44.3	1,153	403.8
2019年3月期第3四半期	18,032	△6.3	453	△27.1	598	△19.7	228	△53.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,837百万円 (ー%) 2019年3月期第3四半期 △478百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.84	—
2019年3月期第3四半期	10.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	45,595	39,921	87.4
2019年3月期	44,190	38,368	86.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,873百万円 2019年3月期 38,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2020年3月期	—	7.50	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	11.00	18.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2020年3月期の期末配当金の内訳 普通配当7.50円、特別配当3.50円、合計11.00円

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,200	△7.9	1,000	67.2	1,100	39.7	1,500	702.5	72.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	22,948,003株	2019年3月期	22,948,003株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,279,820株	2019年3月期	2,332,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	20,647,225株	2019年3月期3Q	21,208,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当社は2018年5月15日開催の取締役会において、中期経営計画を策定するとともに企業価値向上に向けた収益力の強化と体質改善を目的として、構造改革の実施を決定しました。当第3四半期連結累計期間までの構造改革の進捗状況は以下のとおりです。

(1) 体外循環事業の見直し

① 不採算事業からの撤退

- ・国内生産ダイアライザーは2019年3月末をもって生産を終了いたしました。血液浄化製品の自社国内販売とともに、2020年3月期中に販売を終了する予定です。その他の不採算製品につきましても、2019年6月末をもって生産を終了しております。
- ・国内の希望退職者の募集については、130名程度を計画していたところ、134名の実績となりました。海外の退職者182名とあわせ、予定通り人員の適正化が完了いたしました。

② 営業拠点の統廃合

- ・国内営業拠点は2018年9月末で東京・大阪・福岡の3拠点への集約が完了いたしました。また、2018年12月末でナムシントレーディング（タイ）の事業を終了しております。

(2) 血管内分野の拡大と新分野への進出

① 新製品による新たな収益基盤の確立

- ・2018年9月に製造販売承認を取得した「川澄ダックビル胆管ステント」は、2018年11月から限定した施設向けに販売を開始し、2019年6月より全国展開を開始しております。
- ・2019年6月に製造販売承認を取得した「川澄ジャバラ大腸ステント」は、2019年9月から限定した施設向けに販売を開始し、2020年度上期より全国展開を開始する予定です。（「川澄ジャバラ大腸ステント」は、「2019年グッドデザイン賞」を受賞いたしました。）
- ・新研究開発拠点（神奈川県川崎市キングスカイフロント）については、現在設計の最終段階にあり、順調にすすめば、今年度中に着工となる見込みです。開発に関連する業務を集約し、開発から上市に至る流れを加速させます。

② グローバル展開の加速

- ・ステントグラフトについては、イタリアを皮切りに欧州での販売拡大を計画しています。

(3) 生産性の向上

① 業務の効率化

- ・より生産性の高い組織となるために、2019年4月に営業部門と生産部門の組織改編を行っております。営業部門においては、マーケティング、国内・海外、法人向けなどの機能別組織から、透析・浄化、消化器、血液、血管内といった事業分野別の組織へ改組し、販売戦略立案から実行まで一貫して行える体制に変更しました。また、生産部門においては、生産管理部を新たに設置し、国内外生産の一元管理を開始するとともに、管理人員を削減いたしました。この他、本社を含めた間接部門の業務効率化をすすめております。

② 働き方改革

- ・従業員が活き活きと働ける人事・処遇制度の改定を2019年10月に実施いたしました。

上記の構造改革の実施を含む、当第3四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

<売上高>

売上高は、国内外向け血液バッグや血液浄化用フィルター（自販除く）等の販売が増加したものの、構造改革による撤退品（国内ダイアライザー、海外血液回路、国内浄化自販製品<除く回路>、輸液製品<海外OEM>、血圧モニタリングキット等）や生理食塩液等の販売が減少したことにより、前年同期に比べ11億12百万円減の169億19百万円（前年同期比6.2%減）となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ5億40百万円減の114億64百万円（同4.5%減）、海外売上高は、前年同期に比べ5億72百万円減の54億54百万円（同9.5%減）となりました。

<売上総利益・営業利益・経常利益>

構造改革効果および原価低減活動等により原価率が改善した影響で売上総利益は前年同期に比べ1億94百万円減の59億47百万円（同3.2%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、構造改革による人件費等の減少により、前年同期に比べ5億41百万円減の51億47百万円（同9.5%減）となりました。

これにより、営業利益は、前年同期に比べ3億46百万円増の7億99百万円（同76.6%増）となり、経常利益は、前年同期に比べ2億65百万円増の8億63百万円（同44.3%増）となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に計上した構造改革費用が14億44百万円減少したこと等により、前年同期に比べ9億24百万円増の11億53百万円（同403.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①血液及び血管内関連

国内外向け血液バッグ等の販売が増加したものの、構造改革による撤退品（輸液製品<海外OEM>、血圧モニタリングキット等）の販売が減少したことにより、売上高は、前年同期に比べ34百万円減の83億3百万円（同0.4%減）となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ41百万円増の3億36百万円（同14.0%増）となりました。

②体外循環関連

血液浄化用フィルター（自販除く）等の販売が増加したものの、構造改革による撤退品（国内ダイアライザー、海外血液回路、国内浄化自販製品<除く回路>等）や生理食塩液等の販売が減少したことにより、売上高は、前年同期に比べ10億78百万円減の86億16百万円（同11.1%減）となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ3億5百万円増の4億63百万円（同193.9%増）となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億5百万円増の455億95百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金の増加により21億43百万円増の321億53百万円となりました。

固定資産は、主として有形固定資産の減少により、7億37百万円減の134億41百万円となりました。

流動負債は、主として未払金の減少により、3億6百万円減の33億37百万円となりました。

固定負債は、主として繰延税金負債の増加により、1億59百万円増の23億37百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、15億52百万円増の399億21百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は87.4%となり、前連結会計年度末と比べ、0.7ポイント増となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ30億97百万円増の211億13百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ5億15百万円増の16億53百万円となりました。主な内容は、減価償却費の11億68百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ4億88百万円減の11億28百万円となりました。主な内容は、投資有価証券の売却による収入の15億88百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ9億25百万円増の△3億26百万円となりました。主な内容は、配当金の支払額の△3億8百万円であります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①通期連結業績予想

売上高が堅調に推移する一方、原価低減や販管費の削減に努めたこと等により、営業利益、経常利益は、前回予想を上回る見込みとなりました。また、タイ国子会社が保有する遊休土地を売却し、固定資産売却益を計上する見込みとなったこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みとなりました。

②配当予想

投資有価証券や固定資産の売却に伴う特別利益の計上により、当期の親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を上回る見込みとなりました。当社の利益配分の方針に従い、今後の損益状況や資金需要を含む財務状況を総合的に勘案した結果、2020年3月期の期末配当金を1株当たり11円（普通配当7円50銭、特別配当3円50銭）とすることといたしました。

上記事由により、2020年2月6日付の「連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にて、連結業績予想及び配当予想を修正いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,506	21,130
受取手形及び売掛金	6,314	5,726
商品及び製品	2,669	2,330
仕掛品	735	625
原材料及び貯蔵品	1,208	1,728
その他	577	614
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,010	32,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,417	4,156
機械装置及び運搬具(純額)	2,044	1,735
その他(純額)	2,767	2,730
有形固定資産合計	9,230	8,622
無形固定資産		
	312	412
投資その他の資産		
投資有価証券	4,270	4,049
その他	390	381
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	4,637	4,406
固定資産合計	14,179	13,441
資産合計	44,190	45,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,636	1,436
未払法人税等	119	261
引当金	224	86
その他	1,663	1,553
流動負債合計	3,643	3,337
固定負債		
退職給付に係る負債	1,759	1,726
その他	418	610
固定負債合計	2,177	2,337
負債合計	5,821	5,674

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,773	6,767
利益剰余金	25,160	26,003
自己株式	△1,917	△1,873
株主資本合計	36,658	37,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,403	1,603
為替換算調整勘定	352	754
退職給付に係る調整累計額	△103	△23
その他の包括利益累計額合計	1,652	2,333
非支配株主持分	57	47
純資産合計	38,368	39,921
負債純資産合計	44,190	45,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	18,032	16,919
売上原価	11,889	10,971
売上総利益	6,142	5,947
販売費及び一般管理費	5,689	5,147
営業利益	453	799
営業外収益		
受取利息	33	39
受取配当金	60	43
為替差益	13	—
作業くず売却収入	40	46
持分法による投資利益	6	12
その他	10	12
営業外収益合計	165	153
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	62
減価償却費	16	15
その他	2	11
営業外費用合計	19	90
経常利益	598	863
特別利益		
固定資産売却益	53	4
投資有価証券売却益	1,245	1,063
特別利益合計	1,299	1,068
特別損失		
固定資産除売却損	7	2
構造改革費用	1,477	33
特別損失合計	1,485	36
税金等調整前四半期純利益	412	1,896
法人税、住民税及び事業税	135	584
法人税等調整額	35	157
法人税等合計	170	741
四半期純利益	241	1,154
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	228	1,153

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	241	1,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△751	200
為替換算調整勘定	62	403
退職給付に係る調整額	△30	79
その他の包括利益合計	△719	683
四半期包括利益	△478	1,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△496	1,834
非支配株主に係る四半期包括利益	18	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	412	1,896
減価償却費	1,212	1,168
減損損失	219	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△46	3
引当金の増減額 (△は減少)	△282	△137
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△60	6
受取利息及び受取配当金	△94	△82
支払利息	1	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,245	△1,063
持分法による投資損益 (△は益)	△6	△12
売上債権の増減額 (△は増加)	386	677
たな卸資産の増減額 (△は増加)	329	△22
仕入債務の増減額 (△は減少)	△258	△221
その他	761	△247
小計	1,330	1,964
利息及び配当金の受取額	98	93
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△290	△403
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,137	1,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	—
定期預金の払戻による収入	42	17
投資有価証券の売却による収入	2,114	1,588
有形固定資産の取得による支出	△501	△352
有形固定資産の売却による収入	61	6
無形固定資産の取得による支出	△57	△136
その他	6	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,617	1,128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△860	△0
配当金の支払額	△317	△308
非支配株主への配当金の支払額	△1	△12
リース債務の返済による支出	△3	△5
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△69	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,251	△326
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,550	2,640
現金及び現金同等物の期首残高	16,465	18,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,016	21,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を第1四半期連結会計期間より適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取り扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。この変更による当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	血液及び血管 内関連	体外循環 関連	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	8,337	9,694	18,032	—	18,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,337	9,694	18,032	—	18,032
セグメント利益	295	157	453	—	453

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分していない全社資産において、219百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	血液及び血管 内関連	体外循環 関連	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	8,303	8,616	16,919	—	16,919
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,303	8,616	16,919	—	16,919
セグメント利益	336	463	799	—	799

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。